

2025年度 解答速報

筑紫女学園中学校入試【国語】

2025年 1月13日実施

国語

- 一 ① おが [む] ② こころよ [く] ③ けいてき ④ 忠誠 ⑤ 宣伝
⑥ 刷新 ⑦ 発揮 ⑧ 穀物 ⑨ 利己 ⑩ 童話
- 二 問一 d
問二 1 安全性 2 単なるやんちゃな度胸試し 3 自分の命を自分で守るという責任 4 命がけ
問三 ② エ ⑧ イ
問四 たり
問五 イ
問六 世界各地にある
問七 車に乗れば
問八 ア
問九 (例) この世に無限に存在するリスクをあまり意識しない
問十 1 黒白 (別解: 白黒) 2 明暗
問十一 1 頭 2 目 3 鼻
問十二 イ
問十三 (例) 現実の世界にはリスクが必ず存在し、現実の問題の多くには絶対正しい「正解」はないが、自分の責任でより良い選択をする努力をし、決断した選択を実行していくことによって、一人の人間として世界と向き合って生きることができるということ。
- 三 問一 エ
問二 胸のおくが
問三 ② ア ④ ウ
問四 梅の香り
問五 エ
問六 1 千 [差] 万 [別] 2 二 [束] 三 [文]

【講評】

大問一は漢字の書き取りが十問出題された。大問二の説明文は中屋敷均『わからない世界と向き合うために』からの出題であった。内容は「通過儀礼」を題材に、人生の選択、世界と対峙することについて述べたものであった。文法、言葉の知識、記号選択、抜き出し、二十字程度の短い記述、字数指定はないが100字程度の解答になる記述問題が出題された。知識事項は基礎的な学習で対応できるが、設問数が多く、最後の問十三の長い記述問題を時間をかけて取り組めるかどうかのポイントになる。大問三の文学的文章は森下典子『こいしいたべもの』からの出題であった。「梅の香り」を話題にし、筆者の人生についての所感を述べた随筆である。言葉の意味、四字熟語などを含む六問が出題された。問五の本文の表現理解の記号選択問題は、各選択肢の語数が100字程度と長く、時間をかけて吟味する必要があった。難易度は例年並だが、試験時間50分は決して長くなく、解き進めていく時間配分が重要になる。